

9日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、クリチバ市を運行する路線バス車内において、殺人事件が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおり、お知らせ致します。

12月8日（日）16時頃、クリチバ市サンタ・カンジダ地区を運行する路線バス Olaria（オレンジ色のバス）が同地区のブダ通り(Rua Buda)を走行中、車内で男性2名が口論となり、1名が所持するけん銃を相手に向かって発砲し、口論の相手男性1名（18歳）を死亡させた。犯人は発砲後、バスを降車し現在も逃走中。

<当館からのお願い>

・犯人は口論をきっかけに発砲していますが、事件当時のバス車内は満員でした。新聞の調査によると、アンケートに答えた大多数が伯国国内で発生する発砲事件の流れ弾に当たることを危惧しています。

万が一、発砲事件の現場に遭遇した際、流れ弾に注意するため姿勢を低くする、障害物に隠れる等、落ち着いた対応が必要です

・万が一強盗被害にあわれた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話番号190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話番号197）に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切であるとのことです。

・また、被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をおふせた上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。